周波数	局名	アンテナなしのSINPO	RD-S178使用のSINPO	UZ-9DX使用のSINPO
900kHz	HBCラジオ函館	34433	45444	45444
	山陰放送本局	受信不能	34333	24332
918kHz	山形放送本局	33333	44444	44444
	STVラジオ	受信不能	43433	43433
1197kHz	茨城放送本局	35333	45444	45444
	STVラジオ函館	受信不能	32332	32332

コードをつぎ足して再度モニター開始!!

「これを打開するにはステレオとアンテナを離せばいいんだけど、結合コイルのコードが1mぐらいしかないから、これ以上離せないし…。やっぱりコードを延長するしかないか」

そこでプラグの付いた3mの延長コードを用意して、それを使ってアンテナ本体をステレオから離すようにした。この延長コードは電気屋で普通に売っているものだ。

延長コードを継ぎ足して再度モニターにチャレンジ。フェライトアンテナのスイッチを入れてみたが、今度は大丈夫のよう。隊長が予想したように、チューナーに近すぎて、フェライトアンテナが干渉していたようだ。スピーカーからはHBCラジオが聞こえている。

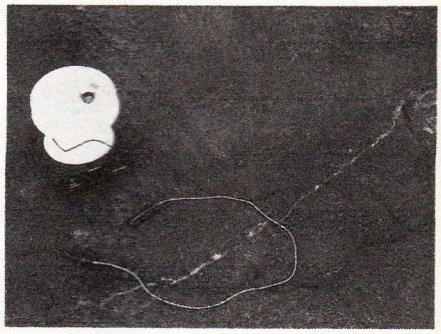
「それじゃあ説明書のとおり、アンテナ部を傾けながら、このHBCがカットされる方向を見つけてみよう」

そう言って隊長はアンテナをグルグル回してみたのだが、山陰放送は聞こえてこない。

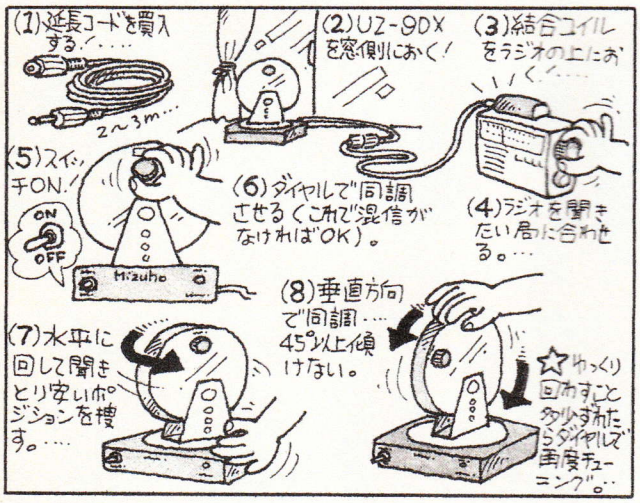
「なかなか難しいですねえ」

使い慣れているループアンテナなら、即座に混信撃退ができる隊長も、初めて使うフェライトアンテナには苦戦の模様。

やがて、それまで聞こえていたHBCラジオが弱まり、代わりに別の放送局が聞こえてきた。しばらく聞いていると山陰放送のクレジットが流れた。



このように3mの延長コードをつないで結合コイルのコードを長くする。これでアンテナ部は遠ざけられる



「隊長、やりましたね」

喜ぶ豊クンたち。しかし隊長の顔はさえない。どうしたんです?

「あれだけ苦労したのに、ループアンテナのときと、受信状態はほとんど変わらないんですよ。かすかにHBCが聞こえてるでしょ。やはり完全にカットするのは難しいですね」

でもそれまでHBCの混信のため、まったく聞こえなかった山陰放送が聞こえるようになったわけだから、効果は大きい。

効果は大きいが、慣れるまでが大変

その後、残りの2つのケースの場合も悪戦苦闘しながらも何とか成功させた。この一連の結果をまとめたのが上の表。どれも混信撃退に成功しているものの、ループアンテナを使った場合とそれほど差はない。

「混信の撃退にはそれなりの効果があるようですけど、ちょっと使いこなすまで時間がかかりそうですね。でもループアンテナに比べるとコンパクトなところがいい。すでにループアンテナを持っている人には必要ないかもしれないけど、持ってない人で混信に悩んでいる人にはいいかも。ただ値段が高いのが問題ですけど」

と言うのが隊長の感想。左上のイラストに今回のモニターで隊長が会得した使用テクニックをまとめてみた。

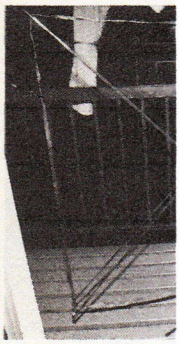
まずはチューニングダイヤルを回し、水平方向だけアンテナを回して聞きたい局を捜し出す。次にアンテナをゆっくり傾け、混信が消えるポイントを探す。その際には、45度以上に傾けないこと。

「慣れればかなり便利に使えそうなんですが、やっぱり値段が高いですね」

とは豊クンの感想。半額であれば手ごろなのだが。しかし性能から考えると、決して損な買物ではなさそうだ。

ようやくモニターも終了。来月は通常のレスキュー活動をやります

これがナショナルのループアンテナ部。一辺が1



ループアンテナのコントローラをステレオのアンテナ近くに

左の山下クンが混信局を消すために、ゆっくりゆっくりとアンテナ部を回す

れた。するとそれまで聞こえていたHBCラジオとはまったく違う番組が聞こえてきた。

「隊長、NHKですよ!」

びっくりした様子の豊クン。

と隊長。送信所の近くでラジオを聞くと、電波が強すぎて、どこに回してもその局しか聞こえないことがある。その現象とよく似ているというわけなのだ。これでは混信撃退どころの話じゃない。